



津山市教委 かわら版



—津山市教育委員会だより— 平成31年3月〈第30号〉

教育委員活動報告 高松市への教育行政視察

平成31年2月6日、外国語教育等の取組について、高松市教育委員会と高松市立川添小学校へ行政視察を行いました。

高松市教育委員会では、平成32年度から小学校高学年から英語が教科化されることを見据えた小学校外国語教育の先行的な取組についてお話を伺いました。小学校へのALT派遣や、学級担任を補助する英語指導補助員の配置による指導体制の整備、電子黒板設置等ICT機器の環境整備を推進するとともに、「英語教育モデル校」を指定し、授業改善等の研究にも取り組んでいるとのことでした。

「英語教育モデル校」の川添小学校では、英語教育の指導体制づくりや教員研修、ICT機器を活用した授業づくりの取組について説明を受けました。電子黒板や、デジタル教材を活用した授業では、子どもたちがコミュニケーションシ

ョンを図りながら、英語を楽しく学ぶ姿がありました。

この度の視察で得たことを、今後の本市の教育推進につなげていきたいと思えます。



川添小学校での英語の授業視察

津山市小中学校 児童生徒交流会

12月に津山市小中学校児童生徒交流会を開催しました。

これは、津山市いじめ問題対策基本方針に基づき、児童生徒代表がいじめ問題に関わる実態や取組の交流を行い、課題解決に向けた主体的な取組の推進と気運の醸成を図ること

を目的とするものです。今回は、スマホ・ネット上の問題を中心テーマとしました。



中学生のリードで、熱心に交流

保護者・教職員約60名が見守る中、子どもたちは、スマホ等で「嫌な思い」をしない良いスマホの使い方にするオリジナルのルールについて、各学校生徒会等の取組を紹介したり、自らの経験を話したりして、活発な意見交流を行いました。

「人間関係を大切にするため、相手の気持ちを考えて、メール等を送る前に文章を見直す」や、「メールの文を見て意味が分からなかったら、相手に率直

に聞いてみる」、「見ず知らずの人とは、SNSやLINEをしない」など具体的なルールが考えられました。また、「親に決められるのではなく、一緒に守れるルールを作る」との心強い決意も聞かれました。

リズムジャンプ 指導者養成講座

リズムジャンプの指導者を養成するため、「リズムジャンプ指導者養成講座」を開きました。全3回講座で美作大学の津田幸保先生を講師に招き、小学校の教員14人が受講しました。



軽快な音楽のリズムに合わせて、ジャンプ

講座を受講した教員は、実際に自分が体験するこ

とで、「リズムジャンプ」を取り入れると運動量が確保できる」、「器械運動や陸上運動でリズムを意識させると運動のイメージを持たせやすい」などの声が上がりました。

リズムジャンプは、体力向上だけでなく脳を活性化させ集中力アップにも繋がります。講座修了者が、講師となり周囲の教員に指導方法を広めることで、体育の授業や休み時間、委員会やクラブ活動など様々な場でリズムジャンプを取り入れる学校が増えています。



リズムを意識したハードル走

来年度は、指導者養成講座の2年目を開催し、さら

なる拡大を図っていきたくと考えています。

平成30年度

幼・小・中学校卒業式

卒業おめでとうございます。

○卒業式・卒業者数

幼稚園	卒業式	3月15日
園児数	九七名	
小学校	卒業式	3月19日
児童数	九八一名	
中学校	卒業式	3月12日
生徒数	九三六名	

学校給食見学

試食会の開催

津山市学校給食会は、全国学校給食週間のイベントとして、児童生徒が毎日食べている学校給食について、理解と関心を深めていただくようと、広く市民に呼びかけて、1月28日に「学校給食見学試食会」を戸島学校食育センターで開催しました。

小中学校の保護者や、栄養士を目指す大学生など

31人の参加があり、学校給食の歴史や津山市の取組、センターの仕組などを学んだ後、研修室から調理場の直径1.2mの大鍋で赤だしを作る様子などを見学し、給食調理で実際に使われている大きい器具での作業体験も行いました。

待ちに待った実食の献立は、勝北地域の郷土料理「黒豆寿司」や、「しのだ煮」、津山産の大根やねぎの入った「赤だし」、牛乳



黒豆寿司などの給食を試食する参加者

参加者からは、「汁のだしが効いていておいしかった」、「野菜がたくさん入っていて驚いた」など、給食を実際食べての感想や、「衛生管理が整った施設にびっくりした」、「思った

より広い調理場だった」など施設の大きさと設備に驚く声が届き、「献立を考えている栄養士さんがすごい」、「改めて栄養教諭になる実感がわいた」など、想いを新たにされた方も多くおられました。

つやま育ち

特別交流事業の実施

1人でも多くの子どもや若者が、自分の進路や将来について前向きに考え、行動できるきっかけをつくるため、美作大学やNPO法人等と連携して、「つやま育ち特別交流事業」を11月22日に鶴山中学校、2月12日に勝北中学校で実施しました。

この事業は、中学2年生と大学生、地域の大人がテーマに沿って語り合いながら、多様な価値観に触れ、視野を広げるキャリア教育プログラム「中学生だっぴ」を活用した事業です。グループに分かれ、「勉強する意味」や、「どんな大人になりたいか」などのテーマについて、自分の考

えや思いをフリップに書き、お互いに意見を聴き合いました。



グループでの活発な意見交流

親や、学校の先生以外の大人と話す機会の少ない中学生にとって、肩書きや立場を超えたフラットな関係性の中で学び合う、貴重な経験となりました。3月5日には久米中学校でも実施しました。

子ども・若者支援地域協議会の設置

ニートや、ひきこもり、不登校などの社会生活を円滑に営む上で困難を有する子ども・若者の問題は、深刻な社会問題になっており、修学や就労の支援などの早期対応が求められています。

本市においても関係機関や団体が連携して、子ども・若者を支援する体制を構築し、効果的で円滑な支援を推進するため、平成30年11月19日に子ども・若者育成支援推進法に基づく「津山市子ども・若者支援地域協議会」を設置しました。協議会の構成機関は、教育、福祉、雇用などの分野から組織された26の関係機関及び団体です。

主な支援対象者は、進路が決まらないまま卒業する中学生や、やむなく高校を中退した人で、10代後半から概ね39歳までです。津山市青少年育成センターが相談窓口となっており、協議会構成機関や、他の支援機関との連絡調整を図り、切れ目のない支援につなげていきます。

鶴山塾もちつき会の開催

12月7日に鶴山塾にて毎年恒例のもちつき会を開催しました。通塾生20名と、ボランティア「とまり木」や担任の先生、青年会議所の方々が参加し、総勢

70名で賑やかに行いました。

子どもたちは、臼と杵でつく、昔ながらのもちつきに、はじめは苦戦していましたが、教えてもらいうちにコツをつかんでいき、10臼をつくことができました。ついた餅は、雑煮やあん餅、ずんだ餅などにして、みんなで味わいました。



毎年楽しみにしているもちつき大会

鶴山塾では、このような季節の行事を大切に行っています。様々な体験活動は人間関係を広げ、集団の中でどう過ごすかを考えることにつながります。このもちつき会を通じて、みんなと協力し、自分自身で考え行動する子どもたちの成長した姿が、多く見受け

られました。

Flickr(フリッカー) 市立図書館公式サイトの公開

市立図書館では、津山市の過去と現在の写真や、画像、動画等をデジタル情報の形で収集・保存し、広く活用していただく目的でFlickr(写真共用サービス)を利用してデジタル・アーカイブを構築し、津山地域に関連した写真の公開を始めました。

Flickrは、掲載する写真をサイト内でテーマ別にアルバムにまとめたり、個々の写真にタグ(キーワード)を付けたり、クリエイティブ・コモンズ・ライセンスを設定して、著作権を保持しつつ2次利用を促すことができます。世界中で8千万人を超えるユーザーが存在するといわれ、世界に向けて津山を発信することができます。

3月1日には、津山地域の写真119枚をFlickrに公開しました。津山の美しい桜の写真もあり

ます。海外の方も「sakura」をキーワードに検索して、津山を訪問したくなるかもしれません。



Flickrの公開イメージ

市立図書館では引き続き図書館の基本的な機能である収集・整理・保存の新しい形としてデジタル・アーカイブの充実に取り組み、今の記録を保存することで地域の記憶を将来にむけて発信します。

Flickr市立図書館公式サイトのURL
<https://www.flickr.com/photos/tsuyama-lib/>

市立図書館 24 - 29

講演会「知られざる剣の達人」(仮題)の開催

市立図書館では、5月

19日午後2時から、津山市在住の時代小説作家、平茂寛(ひらしげ かん)氏による講演会「知られざる剣の達人」(仮題)を開催します。

今回の講演会は、昨年発売された『隠密刺客遊撃組』の第2作が4月に発売されることを記念したもので、主人公である剣の達人、平山行蔵(ひらやまこうぞう)についての話や、小説作りの制作秘話を語っていただきます。



今年6月の対談の様子

平茂氏は静岡岡県静岡市の出身です。岡山県内で農業関係の仕事に従事する傍ら、50歳を契機に小説を書き始められ、平成24年に出版した『限取絵師』で第

3 回朝日時代小説大賞を受賞しました。著作に『暴れ茶人無頼剣』『悪采師』『とっぱあゝ力 年番方筆頭事件帖』シリーズなど数多くあり、人気を集めています。

申込方法 電話または窓口

〒24-29

19

スポーツ振興くじ助成金で津山陸上競技場を整備



独立行政法人日本スポーツ振興センターの平成30年度スポーツ振興くじの助成を受け、津山陸上競技場(志戸部)を大規模改修し、競技用器具(フイニッシュタイムマー及びブレイク・ナン

バー表示盤)を購入しました。4月1日から主競技場が利用できます。

〒24-4900

津山市保幼こ小
接続カリキュラム策定

津山市の就学前の子どもたちが円滑に学校生活に移行することができるよう、保育園(所)・幼稚園・認定こども園と小学校を接続するための「津山市保幼こ小接続カリキュラム」を策定しました。



この接続カリキュラムは、就学前の「遊び」を通して行う総合的な学びから、入学後の教科等の学習を中心とした学びへ、スムーズにつなげることを目指しています。各園(所)校がこの接続カリキュラムをもとに連携を深め、保

育・教育を進めることで、子どもたちの育ちと学びの連続性を確保し、子ども一人一人の豊かな育ちにつなげると共に、各園(所)からどの小学校に入学しても円滑に接続できるカリキュラムとなっています。

保幼こ小連携
研修会の開催

1月31日に中央公民館にて「保幼こ小連携研修会」を岡山県教育庁義務教育課就学前教育スーパーバイザー横川日出子氏・古館美穂子氏を講師として招き開催しました。



保育園(所)・幼稚園・認定こども園・小学校の関

係職員90名が一堂に会し、「津山市保幼こ小接続カリキュラム」の活用の仕方と、スーパーバイザーの分かりやすい講話により、幼児期に育てる資質・能力や連携の在り方について、共に学ぶことができました。

グループ協議では、情報交換や幼児教育と小学校教育の円滑な接続のために何を意識するか、具体的に、連携をどのように進めていくかなどについて話し合いを行ったことで、お互いを知り、連携のきっかけ作りとなりました。



参加者から、「直接、実態や考え方を聞くことができてよかった」、「連携や

交流会の必要性を感じた」、「連携することで、子どもの学びが深まることを感じた」など、子どもたちのために、連携を大切にしていきたいなどの多くの声を聞き、連携の重要性の意識を高めることができました。



発行 津山市教育委員会
(編集 学校教育課教育総務課)
〒708-8501
津山市山北520番地
TEL 0868-32-2112 (直通)
FAX 0868-32-2157
E-mail: kyouiku@city.tsuyama.lg.jp

教育委員会関係課： 教育総務課 学校施設課
学校教育課 保健給食課 生涯学習課
図書館 文化課 津山市史編さん室
スポーツ課 こども課 歴史まちづくり推進室